

令和元年度 奈良県租税教育推進連絡協議会会長賞

「税金とわたしたちのつながり」

川西町三宅町組合立式下中学校 三年 中峯 愛莉

「消費税があるから欲しい物があっても高く買えないよ」とずっと文句を口にしていました。こう思った人は少なくないはずでしょう。しかし、税金があったからこそ毎日安心、安全に生活出来るという事を思い知れた体験がありました。

夏休みのある日、家族で出掛けていると…「キー。ドン。」突然背後で事故が起きてしまいました。車と歩行者との接触事故。今まで目にした事がなくて驚きのあまり、頭が真っ白になりました。なんと、歩いていたおばあさんの意識がなくなってしまったのです。その数分後、救急隊の人が駆けつけ、心肺蘇生をし、無事に意識をとり戻す事が出来、ひと安心。

「おばあさんの命が助かったのは税金のおかげでもあるんだよ。」「なんで?。」「救急車を呼ぶのにお金かからないでしょ。それは誰が負担しているか分かる?私たち皆だよ。前に消費税かかるの嫌って言うていたけどこうして皆のために使われているんだよ。他にも火事が起こったときに欠かせない消防車、交通事故を防ぐ信号も税金でまかなわれているんだよ。」これを聞いて一瞬で税についての考え方が変わりました。もし、この世の中に税金がなくなってしまうたら身の回りの公共施設や公共物が使えなくなってしまう。このような事から「税金って素晴らしいなあ。ありがとう。」という気持ちでいっぱいになりました。

教科書も税金によってまかなわれている事に気付きました。裏に「この教科書は、これからの期待を込め、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう」と書かれているメッセージを見て、頭の中に、自分のために支えてくれている人々が思い浮かびました。私たちが働き始めたら税を納める立場になります。今こうした数えきれないたくさんのお納税者さんたちの期待を裏切る事のないように毎日勉強する必要があります。それが支えてくれている人たちへの恩返しになるはずだと思います。

このように税金を納める事によって暮らしを豊かにすることが出来、互いに助け合っているんだと感じました。自分の知らない間に誰かに支えられて生きているという事はとてもありがたい事です。これらの体験から税金は人と人とのつながりを果たしている事を知りました。現在日本は「少子高齢化社会問題」があり、働く事ができる働き手さんの数が減少し、高齢の方々が急激に上昇しています。だからこそ、「税金は当たり前にあるもの。自分の一生の保障がされる。」と前向きにとらえてはなりません。一人一人がもっと税金について知り、周りの公共物を壊すなどの無駄使いへと発展していかない様に心がける必要があります。互いに理解し合い、よりよい世の中へ変えていくのは私たちの行動次第なのです。